

作成：平成 26 年 4 月 1 日

更新：令和 3 年 3 月 11 日

ロビープリンタを使うための手順とルール

情 報 セ ン タ ー

(教育研究システム担当)

ロビープリンタはパソコンや iPad 等、持込機器で印刷するためのプリンタです。Wi-Fi を介して使います。快適に利用してもらうために、利用にあたっては守ってもらわなければならない一定のルールがあります。

ロビープリンタは情報処理教室のプリンタと同じ印刷ルールが適用されます。以下にそのルールを説明します。ルールを守りぜひ快適な利用環境を維持してください。

ロビープリンタは情報センター (MiCS) がサポートしています。

1. 利用できる機器

ロビープリンタはパソコンやスマートフォン、iPad 等、キャンパスに持込まれる様々な機器 (以下、「持込機器」という。) で利用することができます。利用には持込まれる機器で Wi-Fi が利用できることが必須です。Wi-Fi が利用できない持込機器ではロビープリンタを利用することができませんので、必ず Wi-Fi が利用できることを確認してください。

また情報処理教室のパソコンではロビープリンタに印刷できません。

2. 事前準備

利用は持込機器にあらかじめプリンタドライバのインストールが必要な場合があります。ドライバのインストール方法は持込機器によって異なります。次の各項目を参考にしてください。

- A) ロビープリンタを Windows で利用する
- B) ロビープリンタを Macintosh で利用する
- C) ロビープリンタを iPhone や iPad 等 iOS 系デバイスで利用する
- D) ロビープリンタ Android OS 系デバイスで利用する

なお、iOS 系の iPhone や iPad、OS X 系 Macintosh パソコンには AirPrint という印刷の仕組みを持っており、ドライバのインストールをしなくとも印刷可能です。

3. 利用に際して

- ① 印刷に際してインターネットスポット (Wi-Fi) ESSID “KSU-WiFi” に接続してください。
- ② プリンタ装置には“IM430”と記載されています。Wi-Fi を介して見えるプリンタ名は“RICOH IM 430F_*****” (*****はプリンタの識別記号)です。
- ③ 持込機器を SSID に接続した状態で「プリンタを選ぶ」から上記のプリンタ名を探してください。
- ④ 持込まれる機器によって異なりますが、一般には印刷する対象ドキュメントを選び、プリンタを選んだ状態で“プリント”又は“印刷”で印刷できます。

4. 印刷ルール

ロビープリンタの印刷ルールは情報処理教室に設置されているプリンタと同じルールとなっています。

- ① 印刷用紙は利用者が用意してください。用紙は市販のコピー用紙かプリント用紙を用意してください。学内の売店でも販売されています。
- ② プリンタの電源が入っていないければ、本体の電源スイッチを入れてください。
- ③ 印刷には手差しトレイに用紙をセットした者が優先的に印刷できます。手差しトレイに用紙が置かれていないのを確認して、印刷直前まで準備し自分の用紙をセットしてください。もし、誰かが手差しトレイに用紙を置いている場合はその方の印刷が終了するまで待ってください。
- ④ このプリンタは用紙切れでも印刷ジョブは自動ではキャンセルされません。プリンタの画面が「ヨウシガ アリマセン」と表示され、エラーランプが点滅している状態で、近くに印刷している人がいなければ **×Cancel** で印刷を消去してください。
- ⑤ 印刷準備は、手差しトレイに誰も用紙を置いていないのを確認し、プリンタ設置台に 2 m 以内に近づいて持込機器の「プリンタを選ぶ」から“RICOH IM 430F”プリンタを検索し選んでください。
- ⑥ プリンタが「ディープスリープ」状態のとき、プリンタが発見できないことがあります。その様な場合、プリンタの **OK** ボタンを 1 回押して、プリンタをスリープ状態から起こし、再度プリンタを検索してください。
- ⑦ プリンタが発見できれば、それを選択します。自分で用意した印刷用紙を手差しトレイにセットしてください。なお、正しい印刷用紙以外を使用した場合、印字ドラムの破損など故障の原因となります。故障した場合、長期間使えないことにもなりかねません。必ず市販のコピー用紙やプリント用紙を使用してください。
- ⑧ 印刷後は次の方のために、速やかに用紙を取り除いてください。

5. トラブルの場合

- ① このプリンタに関することは情報センター以外ではサポートできません。プリンタがトナー切れで使えない場合や何らかのトラブルで印刷できない場合は、情報センター（MiCS）にメール等で連絡してください。
- ② 情報センター（MiCS）へのトラブル報告メールの送り方
 - (ア) プリンタ装置上部に掲載している QR コードを携帯電話やスマートフォンで読み込ませてください。
 - (イ) QR コードを読ませると、情報センター（MiCS）宛の e メールが自動生成されます。そのまま送信してください。
 - (ウ) 執務時間であれば情報センター（MiCS）が速やかに対応します。また、メール送信者の個人情報をサービス向上以外の目的で使用することはありません。

以 上